

委員会/分科会名称	内容、成果など
科学者委員会	軍事的安全保障研究声明に関するフォローアップ分科会に若手アカデミーから岸村・川口が参加。
男女共同参画分科会	新福副代表が議論に参加。若手アカデミー（埴淵、川口、新福）が参画してアンケートを作成、現在結果を分析中。
研究計画・研究資金検討分科会	大矢根メンバーがマスタープラン関連の議論に参加、周知可能な情報に限り、若手アカデミー内で共有した。
学術体制分科会	岩崎幹事が第6期科学技術基本計画に向けての提言の議論に加わり、若手の意見を伝えている。
学術と教育分科会	引き続き西嶋メンバーが議論に参加している。
学協会連携分科会	引き続き川口メンバーが議論に参加しており、若手アカデミー・学術の未来分科会の活動として行った学会名鑑調査の内容を速報として共有した。
研究評価分科会	若手アカデミーから2名が委員として議論に参加。

実施日	名称	内容、成果など
7/25	Gサイエンス学術会議共同声明・記者会見	日本学術会議にて行われた記者会見に、山極会長、渡辺副会長、武内副会長と共に新福副代表が列席。
8/8	Gサイエンス学術会議・共同声明の安倍総理への手交	G7サミットに向け、G7各国の学術会議と共同で出された声明を参加各国の政府首脳に対して手交。
8/8	総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会	若手アカデミーメンバーを中心に、若手研究者からの要望・アイデアを取りまとめて山極会長に届け、会議の議題にしていた。 (8月30日科学新聞にて報道)
8/23	若手アカデミー全体会議	各分科会も同時に開催し、今後の活動について議論した。内閣府CSTIの上席科学技術政策フェローである江端新吾氏がオブザーバー参加する中で、議論を深めた。散会后、有志による研究交流会を実施した。

- 5名任期満了による退会、**4名新規加入（特任連携会員）**があった。
- 高瀬&酒折メンバーが、課題別委員会『科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及のあり方に関する委員会』の議論に参加。
- 岸村代表と新福副代表が文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会の下に設置された人文学・社会科学特別委員会の臨時委員に就任。
- 狩野メンバー（就任当時）が外務大臣次席科学技術顧問に就任。
- 西嶋メンバーが外務省科学技術外交推進会議の委員に就任。
- その他、文科省と随時意見交換（研究力向上、人社連携、キャリア教育など）
- NHKの取材に協力（研究力低下、若手の環境などに関する話題）。

Gサイエンス学術会議関連

Gサイエンス学術会議（パリ）：本年3月



Gサイエンス学術会議共同声明記者会見：本年7月25日



安倍総理への共同声明の手交：本年8月8日



主な活動予定(2020年3月まで)

予定日	名称	予定される内容
10/2-4	筑波会議	若手アカデミーが協力機関として参画し、GYAとも連携して複数のセッションを企画・運営。
10/3	学術フォーラム「科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及のあり方」	高瀬、酒折の両メンバーが同名の日学委員会に参加し、積極的に議論に加わるとともに、当日のパネルに高瀬メンバーが参加。
10/5	10th EU-Japan Science Policy Forum (京都)	若手アカデミーを代表して、新福副代表が参加。
10/5-8	STS Forum Annual Meeting 2019 (京都)	安田メンバーをFuture Leaders Programに派遣。また、新福副代表がAnnual Meeting内で講演を依頼されている。
2020.1/23	公開ワークショップ「大学の国際化による地方活性化促進：地域拠点としての大学の在り方を考える」	大学を中心とする国際化の成功事例に学ぶべく、別府で開催。当地の地域行政、大学、ボランティアの方、及び、文科省の方にご登壇いただき議論を深める。オンライン配信を計画。
1月予定	全体会議	全体会議を予定、日程調整中。

-残り1年となるので、意思表出を視野に入れてまとめに入るとともに、次の期を睨んでの新たな取組についても検討を進める。